

介護保険事業計画と給付実績について

(乖離状況分析)

1 被保険者数と認定者数

- (1) 第1号被保険者数は、概ね計画どおりで推移している。
- (2) 認定者数は、令和2年度より減少傾向となっているため、計画値も修正しているが、減少傾向は継続している。

2 居宅サービス

- (1) 訪問介護は、要介護4～5の重度対象者で若干の増加があるが、全体的に減少傾向であり、計画値も修正減したが、下回っている。提供体制が少ないため給付が増えない。
- (2) 訪問入浴介護は、第7期で増加傾向にあったため、計画値も増加出見込んだが令和3年度で減少している。コロナによる利用減少も大きいと推測される。
- (3) 訪問リハビリテーションは、第7期で増加傾向にあり、計画値を大きく超えたため第8期の計画値も増加したが、さらに上回る給付があった。特に要介護1～2の給付費が増えており、重度化防止のためのリハビリ利用とコロナによる訪問型の需要が多くあったためと推測される。
- (4) 居宅療養管理指導は、主に薬剤師による服薬管理指導が多かった。介護度も大きな差がなく、全体的に利用が進んでいる。
- (5) 通所介護は、年々減少傾向が続いている。特に要介護3の給付が減っており、利用者の重度化が防止されているためとも推測される。さらに、コロナにより利用控えや休止等も重なっていることが要因と思われる。
※一人あたりの給付費で見ると、全国平均を上回っており、利用回数や各種加算による増が考えられる。
- (6) 地域密着型通所介護は、町内に開設されておらず、町外に居住する方を中心に利用実績があるため、給付全体の見込は難しい。
- (7) 通所リハビリテーションは、令和2年度まで増加傾向にあり、計画値も増額していたが、令和3年度で減少に転じている。通所から訪問へ変化していることが考えられる。
- (8) (9) 短期入所（生活介護／療養介護）は、いずれも大きく減少した。コロナにより利用が押さえられたと推測される。
- (10) 福祉用具貸与は、概ね計画値に沿った推移を見せている。
- (11) 特定福祉用具販売は、令和元年度のみ落ち込んだが、概ね横ばいで推移している。
- (12) 住宅改修は、第8期は概ね計画値で推移している。要支援や要介護1の軽度の段階で住宅改修されるケースが多い。
- (13) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、町内に開設されておらず、町外に居住する方を中心に利用実績があるため、給付全体の見込は難しい。
- (14) 夜間対応型訪問介護は、県内でも提供体制があまりない状況にある。
- (15) 認知症対応型通所介護は、町内に開設されておらず、町外に居住する方を中心に利用実績があり、要介護1～3の方の利用傾向にある。

- (16) 小規模多機能型居宅介護は、令和元年～2年に減少傾向であったが、令和3年度では、増加に転じている。町内は2事業所であり、短期入所ができるメリットから、利用を希望する方が増えている。
- (17) 看護小規模多機能型居宅介護は、町内に開設されておらず、町外に居住する方を中心に利用実績がある。医療対応が可能なため、重度の方の利用が多い。
- (18) 介護予防支援・居宅介護支援は、認定者数の減少に伴い、若干の減少を見せている。

3 施設・居住系サービス

- (1) 老人福祉施設（特別養護老人ホーム）は、近隣市での新規開設等により、計画値でも増加して見込んだが、想定より給付額は減少している。要介護5の減少が見られるが人数の減少はないため、重度化が防止されていると推測される。
- (2) 地域密着型老人福祉施設は、町内に1カ所開設されており、定数29名で見込んだが給付費は減少しており、満床になっていない状況が続いている。
- (3) 老人保健施設は、概ね横ばいの状況にあるが、令和3年度では若干の減少があり、コロナの影響によるものと推測される。
- (4) 介護医療院は、医療型の施設であり、介護療養型医療施設から制度的に移行されたサービスとなる。移行前の給付費で見込んでいたが、増加傾向となったため、利用者が想定より多い状況にあった。
- (5) 介護療養型医療施設は、制度的に廃止予定（2024年）となっている。
（介護療養型医療施設は、介護療養病床と医療療養病床に分かれていたが、新たに介護医療院として、生活援助（介護）も提供するサービスに統一された）
- (6) 特定施設入居者生活介護は、有料老人ホーム等のうち、日常生活上の世話や機能訓練、療養上の世話を提供する施設となる。町内にある有料老人ホームは1カ所だが、当該サービス区分の指定を受けていない。このため、町外のホームに入居された方が利用し、概ね横ばいの状況となっている。
- (7) 認知症型共同生活介護（認知症グループホーム）は、町内に4カ所あり、概ね満床状況にあるが、緊急的に利用が必要な場合等においては、町外のグループホームを指定して、入所されることもあるため、若干増加した状況で見込んでいる。